

平成25年度

事業経過報告

1. 概況報告

平成25年度事業経過報告を申し上げます。

学区にお住まいの皆様並びに企業、商店の皆様には平素から地域発展並びに連合町内会行事、運営に格別のご理解をいただきまして厚く御礼を申し上げます。

御蔭さまで大きな事故、事件もなく過ごせましたことは、ひとえに地域の皆様、企業・商店の皆様の「安全・安心の住みよいまちづくり」に対するご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当学区は、干拓地（軟弱地盤）で有るが故に堤防の決壊又は津波、高潮による外水被害と集中豪雨による用水の氾濫など内水被害対策が必要です。

幸いなことに、国土交通省により外海側（児島湾）旭川河口より上流に向かって2キロ区間の防潮堤補強工事、堤防補強工事が計画され、25年3月末には三幡堤防かさ上げの第一期工事が完成し、継続して上流の補強工事が進められています。

また、百間川河口新水門は完成がまじかですが、護岸工事は27年度位まで継続し、その中で河口周辺整備での防災拠点づくりを行政に今後も提案していきます。

また、操山から南に位置する干拓地4学区（富山・旭操、操南、操明）は隣保共存の考えで、どの学区が大災害に遭遇しても助け合いの呼びかけを行うように、4学区防災交流会を本年も実施しました。今後も引き続き行う予定です。学区防災活動としては、防災マップ（Googleマップ）の利用による「一時避難場所」の確認と活用、町内会での「共助名簿」支援計画作成による避難訓練での活用を実施しました。また、岡山市からの防災無線塔の小学校屋上への設置、町内50ヶ所の「海拔表示」設置により防災意識・避難意識の啓発を図りました。

コミュニティ協議会が9月に新組織として発足し、桑野地区に加え江並上地区からもいきいきサロンへの参加を行い、地域高齢者福祉活動の充実を進めました。

安全・安心の地域づくり活動については、26年度も引き続き「自助・共助・公助」そして「共存共栄の地域づくり」を目指して一致団結し取り組みたいと願っていますのでご協力を宜しくお願い致します。

2. 重点事業報告

1) 安全で安心して住める地域づくり

① 防災マップ (Google マップ) 上の「一時避難場所」の確認と活用

(電子町内会、自主防災会)

- ・利用案内の周知＝啓発会議と研修会等の実施
- ・共助名簿・支援計画作成して、11/3 避難誘導訓練に活用

② 防災無線・海拔表示の利活用

(三役会、自主防災会)

- ・利用案内の周知、海拔認識と避難意識啓発を図る。
- ・防災無線塔小学校屋上に設置 (9/30) ⇒ 防災無線の聞こえる範囲が少ない。
- ・4 学区防災交流会への参加 (11/27)

③ 国土交通省の水防対策事業に関する取り組み

(三役会、自主防災会)

- ・防災拠点づくりへの提案 = 会長より行政に提案済み
- ・旭川護岸工事は27年度位まで継続

④ 操明かがやきクラブとの連携と活動の推進

(6 グループかがやきクラブ)

- ・施策実施への協力支援に努める。
- ・会員増強 282⇒316 名

(参考＝かがやきクラブの活動指針)

- ・教養向上、健康増進、地域交流、レク、地域団体との協働、その他

2) 学区コミュニティ活動の充実について

① 操明コミュニティ協議会の充実・支援

(協議会、三役会、各種団体)

- ・トップ交渉により、ふれあい隊組織の再編成を行う。 *9/3 編成会議
- ・学校教育支援、PTAとの連携協働の促進 6/19、11/20 (2回実施)

② 高齢者等福祉保健活動の取組み支援

(社協、愛育、民児、単位町内会)

- ・いきいきサロンの運営、介護・虐待・ひきこもり相談を支援、行政の仲介
- ・福祉事務所、社会福祉協議会、介護支援センター、保健センター等の行政サービス機関との仲介・連携を図る。
- ・町内会単位で救急キットの追加配布を行う。(7月配布実施)

③電子町内会会員の拡大・推進

(電子町内会)

- ・会員拡大の周知募集、利活用拡大を図る。
- ・各種会議案内の紙案内からメール案内へ統一する。 8/18～実施

④学区ふれあい行事を通じた絆づくり

「恒例の操明ふれあい行事のブラシアップ」 (年 間)

(連合町内会、単位町内会、各種団体が協働で実施する)

- *桜祭り (4月・コミニテイ協議会)
- *体育祭 (9月・体育協会)
- *敬老会 (10月・社会福祉協議会)
- *防災訓練 (11月・自主防災会)
- *クリーン作戦 (12月・環境衛生協議会)
- 新春互礼会 (1月・連合町内会)